



臨床工学技士



高度な医療機器の知識をもち
医療現場を支える

どんな仕事？

最新の医療機器を駆使して、生命を守る

新型コロナウイルスの治療で注目されているエクモ（体外式膜型人工肺）や血液透析装置、体外式心臓ペースメーカーなど、高度医療機器の操作や保守点検を医師の指示のもとに行います。臨床工学技士は、人命に直結する「生命維持装置」を専門的に扱う専門職。「チーム医療・チームケア」の一翼を担い、現在の高度医療に不可欠な存在です。

どこで働く？

医療の進歩でますます高まるニーズ

病院・診療所

研究施設

訪問などの
地域医療

医療機器
メーカー

など

VOICE

手術チームと連携して、
患者様の生命を守っています *



山城 翼さん

国際医療福祉大学教員、
国際医療福祉大学成田病院 勤務
[兼任]

大学病院では手術室勤務で、主に心臓外科手術での人工心肺装置の操作を担当しています。手術中は、手術チームの声を聞き取りながら装置の回路やさまざまなモニターに目を配るなど気が抜けませんが、翌日、患者様が人工呼吸器から離脱し、落ち着いた姿をみると安心します。大変な仕事ですがやりがいを感じています。今後は働きながら大学院に進学し、現在よりも高いレベルで臨床研究を行いたいと思っています。将来は医療機器を開発し、多くの患者様に貢献することが目標です。

仕事の展開と将来の展望

研究開発や災害支援、人材育成まで

現代の医療は高度な医療機器がなければ成り立ちません。さまざまな医療機器を熟知し、それらが正しく安全に使用できるように管理することで医療を支えているのが、医学と工学の知識を兼ね備えた臨床工学技士です。医療の進歩に伴いその存在はますます大きくなっています。医療現場でのニーズを汲んだ機器の研究開発、「日本災害時透析医療協働支援チーム(JHAT)」や「災害派遣医療チーム(DMAT)」など災害医療での支援、発展途上国における人材育成なども期待されています。

どうすればなれる？

- 臨床工学技士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

臨床工学技士養成校（大学、短大、専門学校）において厚生労働大臣の指定する科目を修得する
医療系国家資格養成所（臨床検査技師や診療放射線技師など）や大学で2年（高等専門学校は5年）以上修業し、
厚生労働大臣の指定する科目を修得する
などの方法があります。

